



県内でも「まん延防止等重点措置」が実施されています！

全国各地で第6波の爆発的な感染拡大が続いております。県内にもまん延防止等重点措置が先月27日から適用され、必要な措置が実施されています。

すでに御案内のとおり、本校においても袋井市教育委員会の指導の下、感染拡大防止に取り組みながら、必要に応じて学級閉鎖などの対応を行っております。保護者の皆様には、御負担と御心配をおかけしておりますが、今後も校医や教育委員会の助言を得ながら、子供たちが安心して充実した学校生活を送ることができるよう職員一丸となり、感染拡大防止と学校運営に取り組んでまいります。

本来の計画であれば、今週は5年生が観音山体験学習に出かけていました。大自然の中で、子供たちの笑顔がたくさん見られていたはずが、来年度に延期となりがっかりした児童も多かったことと思います。第5波が収まったころ、第6波によるこのような状況をどれだけの人が予想していたのでしょうか。直前まで、準備を続けていた子供たちですが、中止でなく延期としたことを喜んでくれました。今年の学級の仲間と行けなくなったことは誠に残念ですが、子供たちなりに自分の気持ちに折り合いをつけ、自分を納得させてくれていました。

コロナ禍の現在の状況は、まさに予測困難と言われるこれからの時代の象徴と言えます。どのような対応が正解かは、だれにも分かりません。そして、どのような対応をするにしても、異なる考えをもつ人同士が互いの思いや立場を尊重しながら、乗り越えていかなければなりません。子供たちが生き抜いていくこれからの時代は、このような場面がもっとももっと増えると言われている以上、私たち大人が、協働してこの難局を乗り切る姿を子供たちに示したいものです。

保護者の皆様には、引き続き感染拡大防止のため、以下の点について徹底をお願いします。

・本人または同居の家族に体調不良が見られる場合は、登校を控えてください。

(当初の症状は腹痛のみでしたが、後にコロナ陽性となったケースが報告されています。)

・帰宅後や休日も、リスクの高い場所への外出は避けるなど感染症対策の徹底をお願いします。

(休日に親戚や友だちと会食をしたり遊んだりして、本人または家族が感染したというケースが増加しています。)

<しめくくりの3学期＝令和4年度のゼロ学期>

コロナ禍ではありますが、時計の針は確実に進んでいます。子供たちには「3学期は来年度のゼロ学期とも言われますよ。」という話をしながら、各学年の生活や学習のまとめを行っています。一方、校内では、今年度の反省をもとに次年度の教育計画の立案も進んでいます。

2学期の学校評価(ともえの子アンケート)では、保護者の皆様から学校公開日の子供たち、学校の様子を見て感じたことを感想や意見として頂戴いたしました。保護者の皆様の思いも令和4年度の教育計画に反映させていきたいと考えております。

全てを掲載することはできませんが、いただいた御感想や御意見の一部を紹介いたします。

<保護者による学校評価より R3.12 実施>

- ・タブレットを使っでの授業では、必要のない時でも触り、ルールが子供たちに浸透していない様子だった。学校だけでなく、各家庭での声かけも大切だと感じたので保護者に向けてのアナウンスを頻回に行ってもよいと思う。(1年)
- ・タブレットを使った授業でも、発表の機会が多かったり、まわりの子と話し合ったりすることがあり、今と昔が混ざっているような感じに思えた。(2年)
- ・子どもたちの挨拶が概ね日常化されていると感じました。又、クラスメイトの得意なことを互いに認め合っていると感じる場面があり、その際の先生が子ども達に投げかけた何気ない質問が素敵だと思いました。コロナ禍でも、子どもの様子を参観し普段の様子を見られて安心しました。ありがとうございました。(3年)
- ・楽しく英語に取り組めて、家でも言ったり単語を入れ替えて話してみたいと調べたりしました。クラスの友達と楽しく話している様子を見て、クラスの友達と仲良く過ごせているのが分かり、安心しました(友達の事や学校生活のことは話さないで)。(4年)
- ・一人の子供が発表中「おおー！」や「同じです」「なるほどー！」と言う声が飛び交っていてクラスみんなの気持ちが変わり、発表している子のやる気に繋がっているなどと思った。間違えたとしても否定的な言葉は出る事なく、次に発表した子が「僕はこう思います」と違う答えを言って、全体で考えながらの授業ですごいと思いました。(5年)
- ・(前略)上の子も下の子も、タブレットを使った授業がとても自然なことに時代の流れを感じるとともに、筆記用具の一つのように、使いこなす子ども達のしなやかさに、「おいていかれないように頑張らねば！」と気持ちを新たにす機会もいただきました。ありがとうございました。(6年)



多くの保護者の皆様から、学校公開の方法に関する御意見も頂戴いたしました。家庭と地域と学校とが、協働して子供たちを育てていかなければなりません。御意見を参考にしながら、令和4年度の参観会や学校公開日、運動会などの実施方法や回数などについても検討を進めております。

すべての子供が「学校は楽しい」と感じられる北小にしたいと強く願います。今後も皆様のお力添えをお願い申し上げます。学校評価のまとめは、ホームページに掲載いたします。

ともえの子アンケート「学校は楽しいですか」への回答

■「はい」 □どちらかと言えば「はい」 ■どちらかと言えば「いいえ」 ■「いいえ」

